



フォレスターうじ 会報

第287号
令和5年1月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

十二月定例活動

二十五周年記念事業・トータムポール制作と
記念樹の胸高測定

ミニ門松作り体験会、その他

活動日 十二月十八日(日) 晴時々雪

活動時間 九時半〜十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十六名

ミニ門松作り体験会四名

今冬一番の冷え込み、山間部では雪の予報が出ている中で参加者十六名がフォレスターうじの広場集った時には日差しが出ていた。

定刻になり会長の挨拶、事務局からの連絡事項、点呼、安全十箇条の唱和、ラジオ体操、新会員の小島さんに今後長く活動していただくことをお願いヘルメットとノコが貸与された。

午前中は三月完成を目指して、トータムポールの制作、記念樹の胸高測定、ミニ門松作りの準備、飲み物用のお湯の準備を行った。

お昼前から雪が降り始め、昼食時に熱いコーヒー、紅茶等を準備してくれた山口さんに感謝感激。

午後はミニ門松作りに市民三家族四人(子供一人含む)が参加し、会員の指導を受けながら思いのミニ門松を作り持ち帰ってもらった。

トータムポールの制作は彫刻がほぼ出来上がり、二回目の防腐剤を塗布した。トータムポールを立てる穴に溜まった土砂の除去と土砂が入らないように穴の周りに土を盛った。

林道の奥にある水道取水口の掃除を冷たい水の中で上田さんに作業をしてもらった。ご苦労様。

作業終了後、令和四年正月に宇治上神社でお祓

いを受けログハウスにお祈りしたお札に、一年間無事に過ごせた事を報告し、今年の定例活動を終えました。一年間ご苦労様でした。

今年の活動は、特別活動で十二月二十三日宇治市役所北玄関に門松を設置する作業だけとなりました。参加される方ご苦労様です。

(記 久保井 英規)

12/18 トータムポールに防腐剤を塗布



12/18 ミニ門松作りに奮闘中

十二月臨時活動

どんぐりプロジェクトの森づくり

アクトパル宇治で防鹿柵ネット張り作業

活動日 十二月七日(水) 晴

活動時間 九時〜十四時

活動場所 アクトパル宇治

参加者 会員五名 e c o t t 宇治一名

アクトパル宇治二名

笠取ファーム二名

十二月二日に事前準備として深田会長を始め三名で設置場所、ポール挿入支柱の打ち込みを行なった。十二月七日は主にネットを張った。上ロープのセットが上手く行かず少し手間が掛かったが、午前中でほぼ完成、午後からはネットの出入口の仕上げ、持参植栽の植え込み、圃場場所へのアプローチを安全にする為簡易階段を設置し、午後二時に終了した。

e c o t t 宇治と協働事業として、アクトパル宇治の山にどんぐりプロジェクトの森を作ろうと取り組んでいる。当会もe c o t t 宇治も同じ思いで協働事業をしている。何年先かわからないが、素晴らしいどんぐりの森ができるのが楽しみだ。お手伝い頂

いた皆さん、お疲れ様でした。

(記 新宮 邦春)



12/7 アクトパル宇治
どんぐりプロジェクト
の森に防鹿柵ネットの
設置を終えて
(写真 新宮邦春)

十二月臨時活動

門松に用いる竹伐採作業

活動日 十二月十五日(木) 曇時々晴

活動時間 九時〜十三時四十分

活動場所 生長の家宇治別格本山

天ヶ瀬森林公園

参加者 会員五名(午前参加会員二名)

今朝は寒波到来、寒かった。

竹三本を伐採し運搬に適した長さに切るのに約一時間強、生長の家の方にお礼をして森林公園に向かった。今回の門松は下の部分をむしるにすることとし、飾りの竹を磨くことを中心に作業した。他にミニ門松用の器も作った。

なお、十二月二十二日(木)深田会長と新宮実行委員長が広野中学校構内から松を伐採し、市役所まで運搬した。

十二月特別活動

市役所北玄関に「門松」を設置

活動日 十二月二十三日(金) 晴

活動時間 九時〜十一時三十分

活動場所 宇治市役所北玄関

参加者 会員八名

深田会長、林副会長、新宮実行委員長の三名が九時に森林公園から竹などの資材を運搬した。結果十時頃から市役所で作業開始。

風が強く寒さも厳しく資材が飛ばされそうになりながらも竹三本を中心に松、梅、南天、千両、万両、葉牡丹を飾り付けた。2mを超える松は存在感があり、小林副会長が持参した千両、万両の赤い実や黄色の実も綺麗だった。多くの市民の皆さんに見てもらいたいと思う。

(記 木曾 宗統)

エッセイ

健全な森づくりの循環(一)

小林清三郎

森づくりの循環を林野庁が薦めている。植える、育てる、収穫・利用する。この循環には約五十年掛かる。

天ヶ瀬森林公園は、京都府が設計し、宇治市農林茶業課が管理して、三十数年が経過した。

森林ボランティア「フォレストアージュ」は、平成九年に結成された。森林の手入れは、一年の内、季節によつて作業内容が異なる。会員には、初心者・中習者や専門家もいて、それぞれが経験や技術に応じて活動している。初心者も、勉強して森の手入れに参加することになる。森の知識を知っていると知らないのでは大違いであり、知っているからといって出来るかというところではない。出来るようになるには技術を習得することになる。また、参加して数年たつと森や自然が突然かわってくる。

そんなわけで、前記の健全な森づくりの循環の中で、森林ボランティアに出来ることは限られると考えるか、出来ることは山ほどあると考えるかは、考え次第である。

限られる中で、出来ることを楽しく安全に活動するのが森林ボランティアだと思う。「植える」については、どنگりプロジェクトを始めて十年が経過したが、道半ばである。京都大作戦の森には、モミジ・桜等を植えた。「育てる」については、間伐・除伐を行っている。「利用」については、椎茸のホダ木用にクヌギ・コナラ類を、調達している。除伐材で木工品等の制作をしている。これからは、除伐した栈済み材を薪ストーブ用に提案していきたい。

天ヶ瀬森林公園が永続する事を念じて楽しく活動に参加していきたい。

今後の活動・行事の案内

令和五年二月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、「活動案内」でお知らせします。

二月定例活動

二月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園

・椎茸植菌体験会

・二十五周年記念事業の継続

二月臨時活動

二月十一日(土) 生涯学習センター

・e コットカフェに協力

椎茸植菌体験と

森のちよつといい話(話者:中佐 昌弘)

フォレストアージュからのお知らせ

フォレストアージュは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

夏の暑さにも辛抱がでず、またこの冬の寒さにも凍えていた。夏はちよつと体を動かしただけでも汗が噴き出てきた。冬はじつとしていると足、ふくらはぎの芯から冷えて震えている。贅沢に慣れてしまったのだろうか。

(会報担当 木曾 宗統)

(写真担当 田中 一夫)

